

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会  
衛星・科学業務委員会（第17回）  
議事概要**

- 1 日時 平成30年4月16日（月） 15:00～15:40
- 2 場所 中央合同庁舎第2号館 第4特別会議室
- 3 議題
  - (1) 衛星・科学業務委員会（第16回）議事概要（案）について
  - (2) ITU-R SG7関連会合（2017年10月）の報告書（案）について
  - (3) ITU-R SG7関連会合（2018年5月）への日本寄与文書（案）について
  - (4) ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の外国等寄与文書の審議表（案）について
  - (5) ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の対処方針（案）について
  - (6) その他
- 4 配付資料
  - 資料 衛・科-17-1 衛星・科学業務委員会（第16回）議事概要(案)
  - 資料 衛・科-17-2 ITU-R SG7関連会合（2017年10月）の報告書(案)
  - 資料 衛・科-17-3 ITU-R SG7関連会合（2018年5月）への日本寄与文書(案)
  - 資料 衛・科-17-4 ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の外国等寄与文書の審議表(案)
  - 資料 衛・科-17-5 ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の対処方針(案)

参考資料 1 ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の開催案内  
参考資料 2 ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の日本代表団一覧（予定）  
参考資料 3 今後のITU-R SG4及びSG7関連会合の開催予定  
参考資料 4 衛星・科学業務委員会 構成員名簿
- 5 出席者（敬称略、順不同）

主 査：加藤 寧  
構 成 員：藍沢 志津、阿部 宗男、稲村 賢治、大石 雅寿、加保 貴奈、  
河合 宣行、佐藤 祐子、田中 祥次、徳永 恭子、中道 正  
仁、花土 ゆう子、日野 和恵、三谷 政昭  
関 係 者：佐々木 幸男、横山 隆裕、永島 隆  
事 務 局：高地、郷藤、馬田
- 6 議事概要  
開会に際し、主査から、構成員に加え関係者も専門的立場から審議に参加するとの説明があった。

(1) 衛星・科学業務委員会（第16回）議事概要について

資料 衛・科17-1に基づき、衛星・科学業務委員会第16回会合の議事概要（案）について事務局から説明があり、特段の意見がある場合は、4月27日(金)までに事務局あて連絡することとなった。

(2) ITU-R SG7関連会合（2017年10月）の報告書（案）について

平成29年10月24日（火）から10月31日（火）まで開催されたWP 7A、WP 7B、WP 7C及びWP 7D会合について、資料 衛・科17-2に基づき、事務局から報告があった。

(3) ITU-R SG7関連会合（2018年5月）への日本寄与文書（案）について

WP 7Bへ3件の日本寄与文書（案）について審議がなされ、これらの寄与文書（案）について、以下の議論の後、修正するとの条件付きで承認された。

- ・ ITU-R新報告草案SA.[400 MHz-LIMITS] 既存TT&CアップリンクのDCSに与える干渉と低減策に関する技術検討（7B/J-1）

資料衛・科17-3-1に基づき、永島氏より説明があった。  
主なやり取りは、以下のとおり。

河合構成員：前回のWP 7B会合では、日本の提案が不十分とされたということで、Figure J4からFigure J6が今回の結果として示されているが、勧告SA.1163や1164に適合するものということか。

永島氏：前は、改訂前のSA.1163, 1164の基準で計算を行い、結果が不十分であったため、今回再計算した結果を出している。

河合構成員：Figure J4は、orbital avoidanceがないと基準を超えるが、orbital avoidanceをすれば基準に収まるということで、Figure J6はaggregateという理解でよいか。

永島氏：ご指摘のとおり。1164は1衛星1地球局に対する基準で、Figure J4は1164の検討。Figure J6で、複数衛星のトータルにおいても基準を下回ることを説明している。

河合構成員：ハイライトが修正部分とのことだが、見え消しと混在している。何か使い分けをしているのか。

横山氏：JAXAといっしょに議題1.2等の対処を支援させて頂いている。この見え消しは、直前までの修正作業で付いた履歴である。提出する際は履歴を反映させた形に修正したい。

大石構成員：前回会合で指摘されたため今回再計算を行ったという流れの背景をIntroductionで説明することで、理解が進むのではないかと。FIGUREJ2の横軸、縦軸の単位を記

載したほうがよい。7 Analysisの4行目は、もともとxxxなのか。WPで番号をつけるのか。

永島氏：背景の説明、縦軸、横軸は追記する。番号をつけるかは改めて確認する。

加藤 主査：Introductionの10行目の"with a"は不要である。

永島氏：見直す。

- ・ WRC-19議題1.2のCPMテキスト案に対する修正提案（7B/J-2）

資料衛・科17-3-2に基づき、永島氏より説明があった。  
特段の質疑なし。

- ・ WRC-19議題1.3のCPMテキスト案に対する修正提案（7B/J-3）

資料衛・科17-3-3に基づき、横山氏より説明があった。  
主なやり取りは、以下のとおり。

阿部構成員：Introductionの3段落目でexisting satelliteがWRC-19後も運用できるよう保証するという旨が記載されているが、WRC-19は開催前であるため、暫定的な措置であるという内容を組み込んだほうがよい。

横山氏：当該段落では、前回WP7B会合で合意した内容をほぼそのまま引用している。その合意内容に、transitional arrangementと書かれているが、確かに分かりにくいため、見直して改善できる点があれば改善する。

大石構成員：Introductionの3段落目は、1段落が1文となっているため分かりにくい。いくつかの文に分けたほうがよい。

横山氏：合意事項を変えるような修正はできないが、別の文を追加するなどにより、わかりやすくしたい。

大石構成員：Introductionは背景を理解してもらうことが目的であるため、原文をそのまま使用する必要はない。趣旨を変えないように文を変更すべき。

横山氏：日本が合意事項を変えようとしていると誤解されないよう注意しつつ、わかりやすくなるよう工夫したい。

#### (4) ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の外国等寄与文書の審議表（案）について

平成30年4月16日時点で公表されている外国入力文書の審議表（案）について、事務局から資料衛・科17-4の作成が完了していない旨の説明があり、後日メール審議となった。

#### (6) ITU-R SG7関連会合（2018年5月）の対処方針（案）について

対処方針（案）について事務局から資料衛・科17-5に基づき説明をし、

対処方針（案）に基づき対処することが承認された。

(7) 今後のスケジュールなど

事務局から、寄書の修正について修正版を4月20日(金)までに事務局宛に提出していただきたい旨の指示があり、またITU-R SG7関連会合への出席、及び構成員名簿への変更について、適宜事務局まで連絡していただきたい旨の照会があった後、主査から閉会宣言が行われた。

以上